

林業死亡災害の内訳

森林・林業における労働災害の発生状況は、中長期的にみると減少傾向にあるものの、他産業に比べると発生率が高い水準で推移しており、災害の程度も死亡災害などの割合が多い状況にあります。高い労働生産性を求めるあまり、安全対策が十分ではなく、労働災害の危険性が高くなっている状況にあることは間違いありません。死亡災害の内訳を見直し、改善していかなければなりません。

- ① 間伐作業中における災害
- ② 不適切な方法による「かかり木」処理中における災害
- ③ 複数の林業労働者の接近作業が原因の災害
- ④ 車両系の林業機械の転倒、転落の災害
- ⑤ 周囲の労働者を巻き込む災害
- ⑥ 新規参入する労働者の災害

林業労働者の安全と健康の確保は、事業者が果たすべき「社会的責任」の中でも、最も優先されるべき事項です。また、事業者の創意工夫による「自主的取組」を推進することが、極めて重要になってきます。

依田林業新聞

発行所

(有) 依田林業
塩山事務所
総務部

自然 的 な 危 険 要 因

- ① 強風、大雨、大雪などの悪天候のため危険が予想されるときは作業を中止すること。特に積雪地帯では雪崩に注意すること。
- ② 台風、集中豪雨のあとは、作業地の状況が変わることがあるので、作業地を見回りして危険のないことを確かめること。
- ③ 雷が予想されるときは、作業を中止して、自動車、作業小屋、凹地などの安全な場所へ速やかに避難すること。



【参考】
 強風：10分間の平均風速が10m/秒以上の風
 大雨：1回の降雨量が50mm以上の降雨
 大雪：1回の降雪量が25cm以上の積雪

今月の一言

過ちを見てそれを正そうとしなければ、過ちを犯した者と同罪だ。

全国安全週間

山の仕事は、厳しい自然と樹木が相手です。山は急斜面地が多い。木は大きくて重い。現場はチェーンソー、大型機械を使った仕事。

大事な事（基本・手順）は面倒。いつも危険と隣り合わせです。

天候・厚さ・地形・作業に応じた対策を立てないといけません。

そこで、「全国安全週間」が実施されます。準備期間が、6月1日～30日。

本週間が、7月1日～7日までとなっています。

6月は梅雨なので、急な天候の変化で、思うように作業出来なくなります。そんな時、どう対処していくのかを話し合っていく必要があります。直ぐに取り掛かれるように、道具の整理、手入れをしたり、現場での注意点を話し合っていくきましょう。暑さ対策として、十分な水分補給、こまめな休憩と、体調管理を気を付けましょう。

今年のスローガン

新たな視点で見つめる職場、
創造と工夫で安全管理、
惜しまぬ努力で築くゼロ災